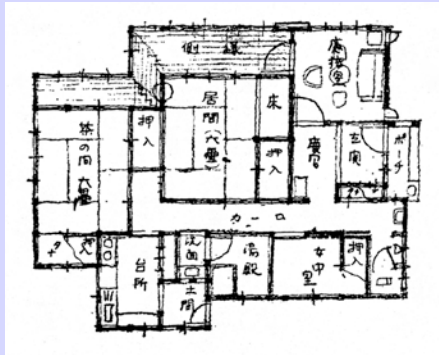


住要求構造の変容を考える ～ 近代日本住宅の変容過程とその解釈を正す



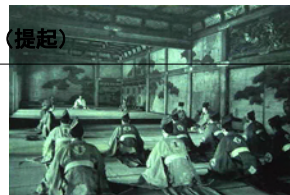
01/Sep, 2011
大分大学 鈴木義弘

住要求構造の変容を考える ～ 近代日本住宅の変容過程とその解釈を正す

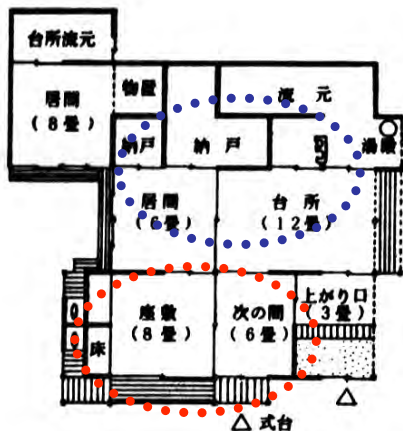
- 0. イントロダクション (提起)
- 1. 内部動線の変容 (中廊下型と居間中心型)
- 2. 和室 (座敷) の存亡ととられ方
- 3. 居住プランと選好プランの関係
- 4. これからの課題

0 1 2 3 4

イントロダクション (提起)



接客本位制



1) 日本住宅の伝統的領域構成

: 2つの領域の画然たる区分

a. 接客領域

: 玄関 - (玄関の間) - 一次の間
- 座敷 ←.....南面

b. 家族生活領域

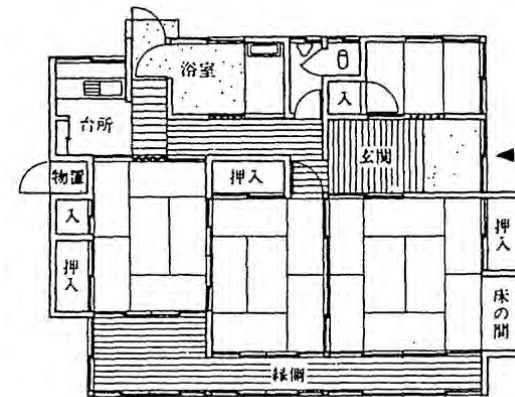
: 茶の間/居間/寝室/台所ほか

- 接客領域を優先
- 相互の領域を侵犯しない配慮 (動線・便所など)

0 1 2 3 4

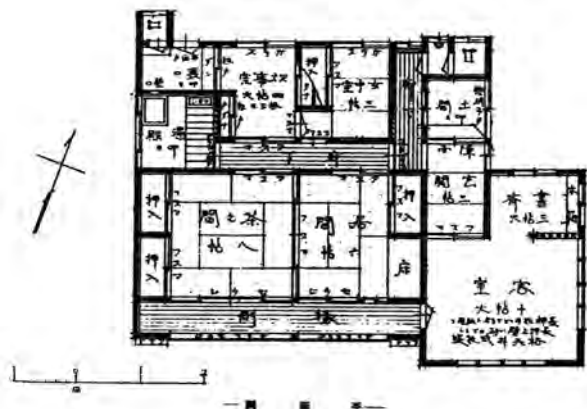
イントロダクション (提起)

中廊下型住宅



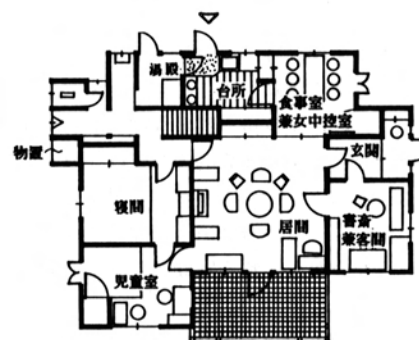
同潤会「勤人向き分譲住宅」：赤羽第二期・荻窪D型<1929年>
※ 図版出典：日本建築学会編『新建築学大系7「住居論」』

■ 中廊下型住宅(和洋折衷のタイプ)



住宅改良会主催「懸賞募集改良中流住宅」
：一等当選・劔持初次郎案<1916年>

■ 居間中心型住宅



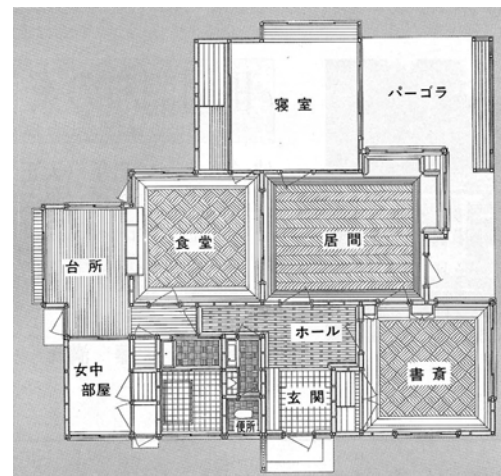
<生活改善同盟会「平和記念東京博覧会文化村出品作品」1922年>

■ 居間中心型住宅? :江戸たてもの園



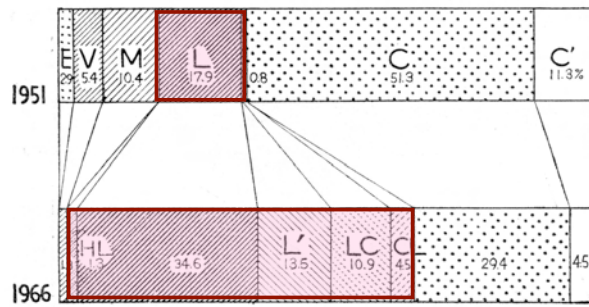
<三井道夫「大川邸 (田園調布の家)」1925年>

■ 居間中心型住宅?



<三井道夫「大川邸 (田園調布の家)」1925年>

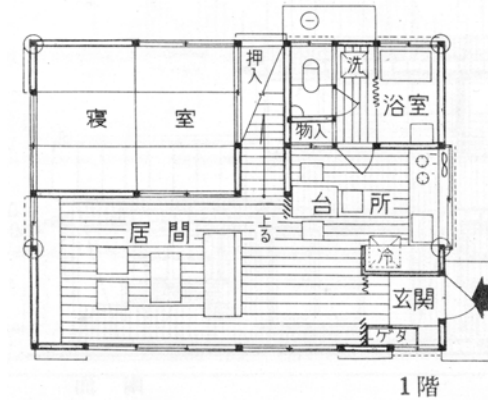
■ 戦後における居間中心型住宅の提案



住宅金融普及会編『住宅金融公庫 住宅平面図集』掲載図面の平面構成

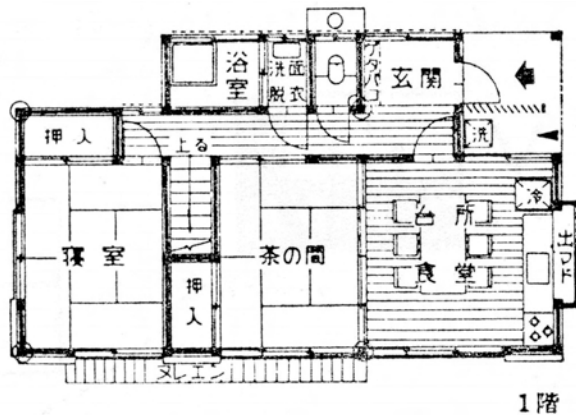
<西山卯三『日本のすまいII』1976年・勁草書房>

■ 戦後における居間中心型住宅の提案



<住宅金融普及会編『住宅金融公庫 住宅平面図集』1957年・新建築社>

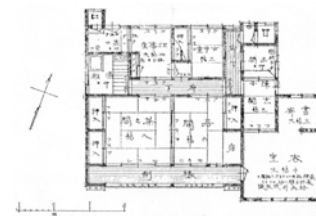
■ しかし、注文が多かったのは



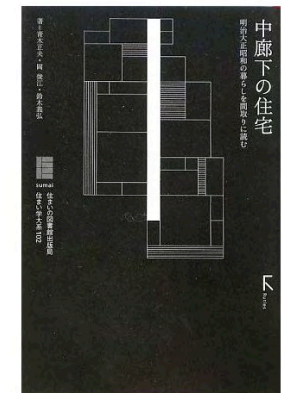
<住宅金融普及会編『住宅金融公庫 住宅平面図集』1957年・新建築社>

しかも、中廊下型住宅は
オーストラリアの住宅を
日本に移入したもの……
という「移入説」が通説であった。

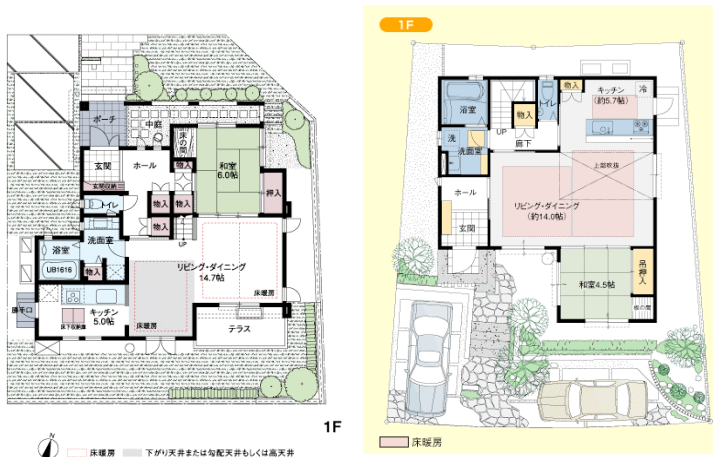
田邊淳吉「西濠洲の住家」(1908年)



そこで……………



■ 平面構成の類型



1F 居間階段

1F 居間通過階段

<階段位置>

■ 住まいは多様化しているといわれているが……

■ 内部動線の変容は？(中廊下型と居間中心型)

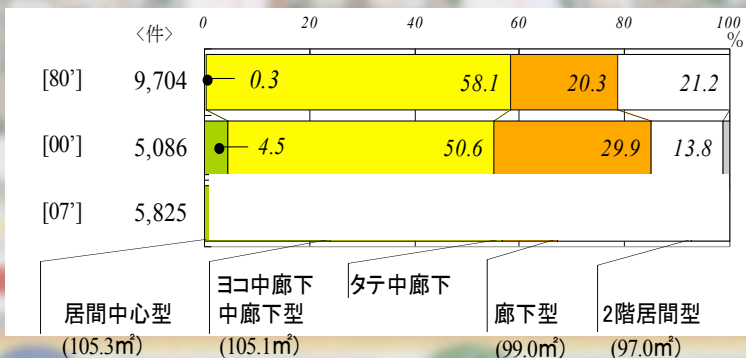


図-6 内部動線による平面類型の変容

■ 全国の新聞折込広告による平面構成の分析

1980年: 9,704件

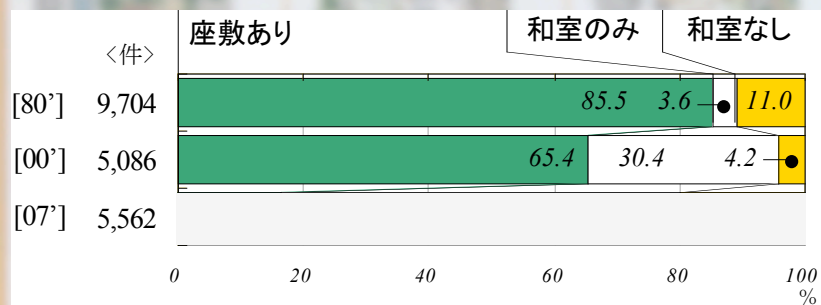
2000年: 5,086件

2008年: 5,562件

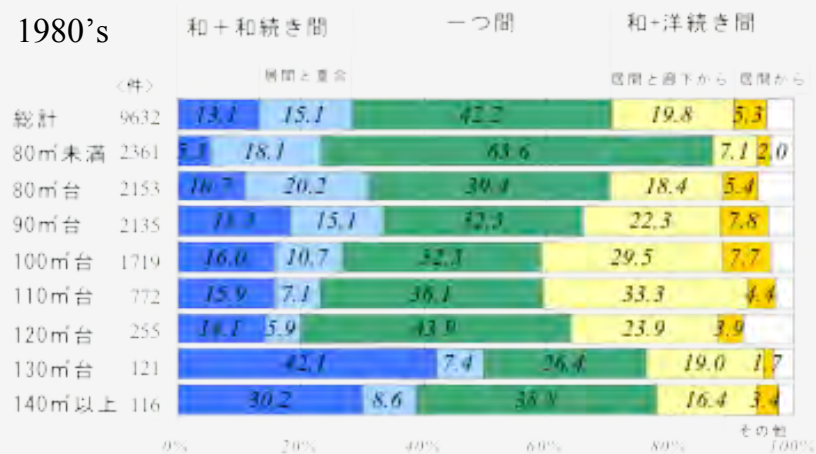
■ 住まい方調査 (東北・北陸・関東・東海・近畿・中国・四国・九州)

2007~09年: 510件

■ 和室(座敷)の存亡 ……や如何に？



■ 座敷のとりられ方は？



■ そして……

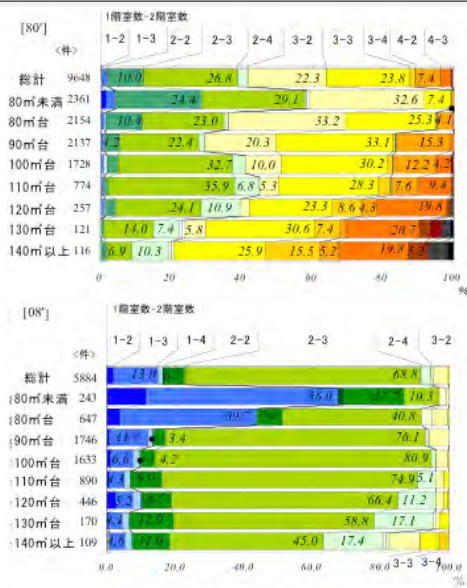
供給実態(トレンド?・売れ筋?)が、
居住者のニーズに合致しているのか？



「居住プラン」： 取得した住宅の間取りと
「選好プラン」： 望ましいと思う間取り

の クロス分析

■ 室数構成



■ 平面構成の類型

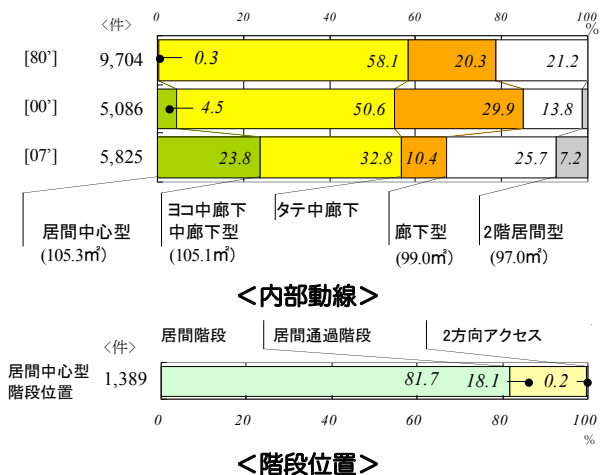
平面類型	1階座敷(和室)配置： 居間との位置関係				2階座敷(和室)	座敷(和室)なし	居間が和室	居間特定 で必ず
	廊下で分離	居間と隣接	居間と続き間	居間経由				
階段位置	タテ中廊下型	ヨコ中廊下型	居間中心型	廊下型				
居間2階配置					2階居間型			

<内部動線>

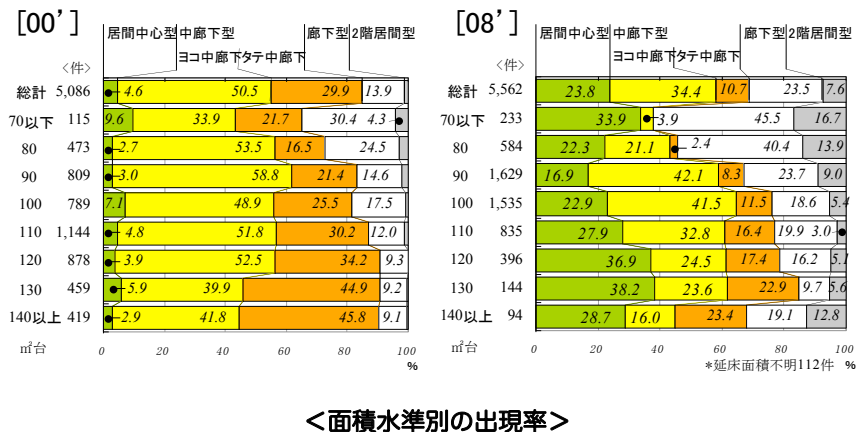


<階段位置>

■ 内部動線の変容

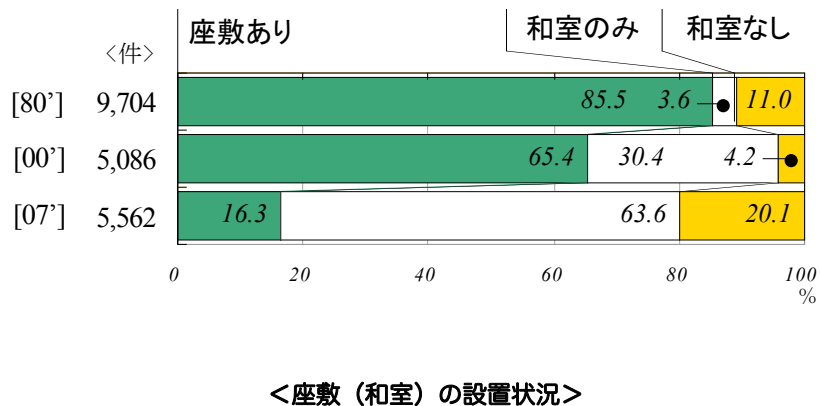


■ 内部動線の変容<面積水準別>

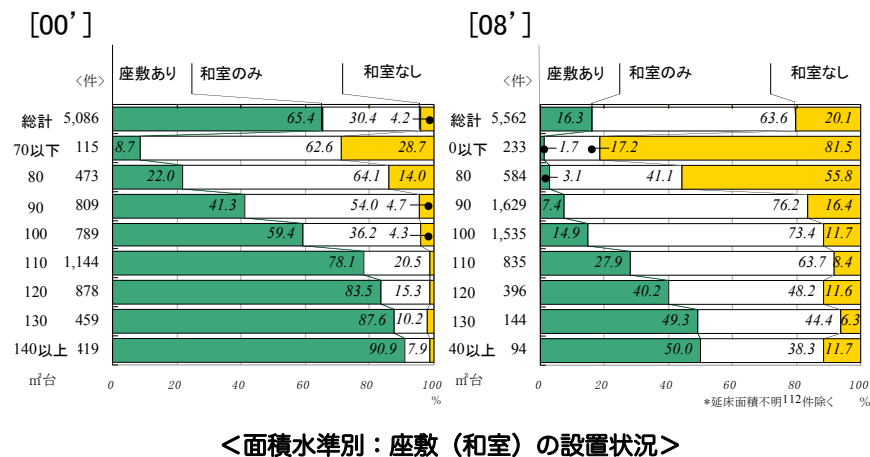


<面積水準別の出現率>

■ 室構成要素の変容:座敷(和室)



■ 室構成要素の変容:座敷(和室)



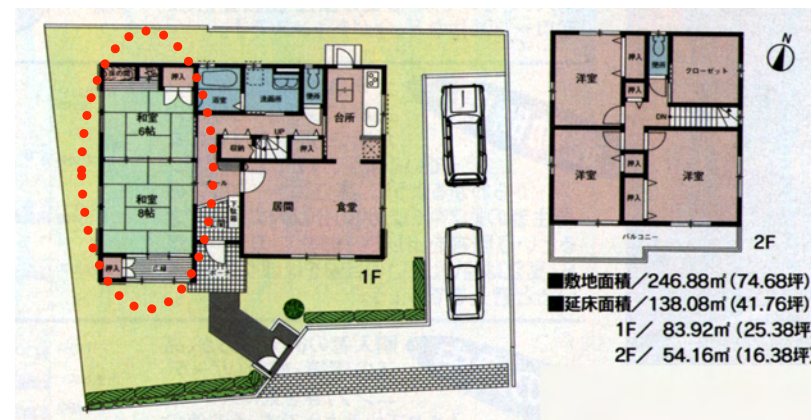
<面積水準別:座敷(和室)の設置状況>

つぎに、「座敷」のとられ方に着目します
3枚の平面図をみて下さい
大きく次の3タイプに分けることができます

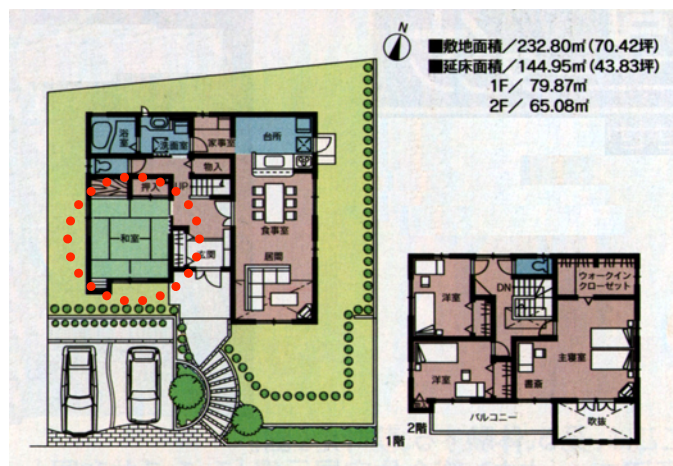
- 1) 和室2室の続き間座敷
- 2) 一つ間座敷
- 3) 座敷と洋室の続き間

2000年大分市の郊外住宅団地の折込広告です

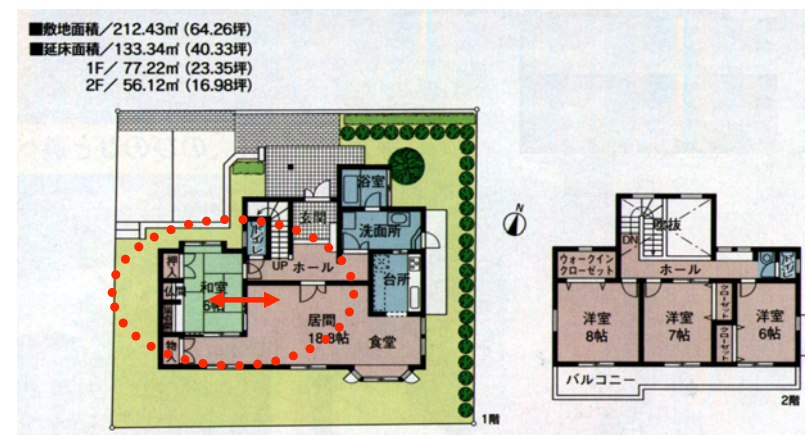
内部動線は、すべて「中廊下型」



1) 和室2室の続き間座敷 <タテ中廊下>



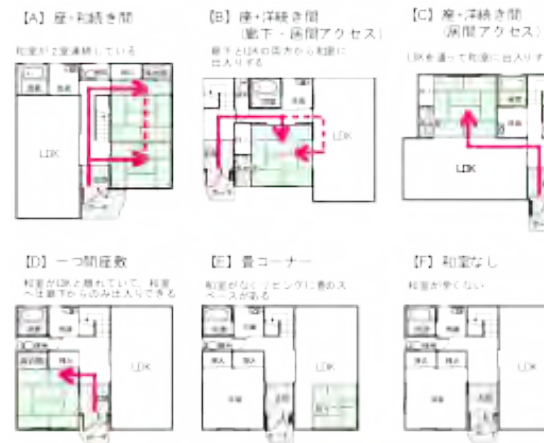
2) 一つ間座敷 <タテ中廊下>



3) 座敷と洋室の続き間 <ヨコ中廊下>

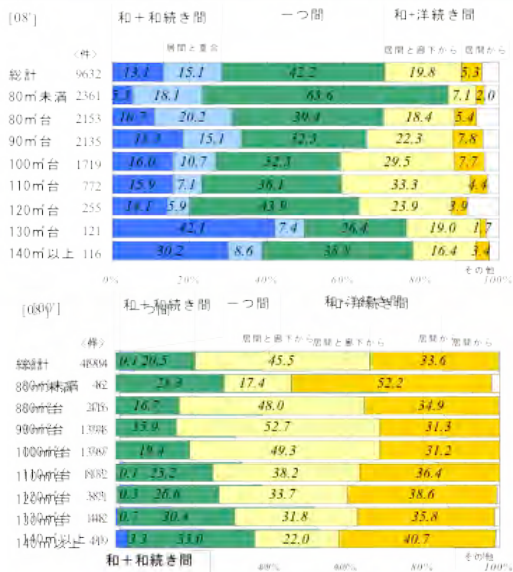


3) 座敷と洋室の続き間 <居間アクセス>



和室(座敷)のとられ方 <模式図>

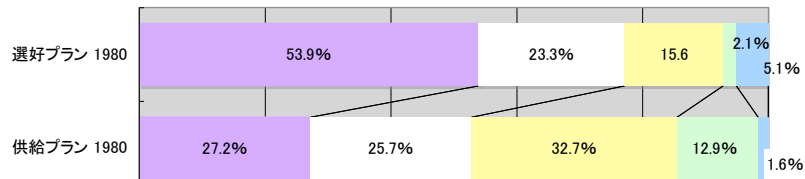
和室(座敷)のとられ方 <時系変化>



1980年代の「住宅供給」は、3つのタイプがほぼ同じ比率でした。

■和室2室の続き間座敷 ■座敷と洋室の続き間 ■一つ間座敷 ■座敷なし(和室あり) ■和室なし

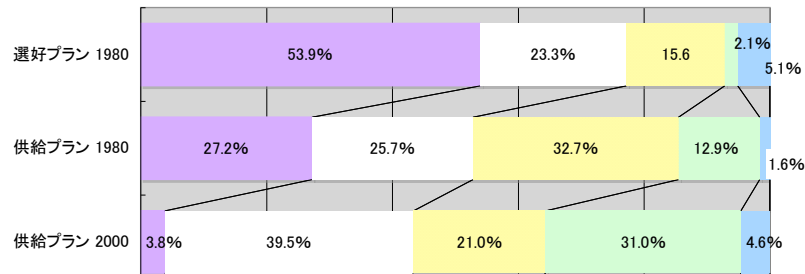
和室のとられ方：供給と選好の変容



しかし、「住宅の選好」をみると、「住宅供給」とは大きく異なり「続き間座敷」が選好されています。

■ 和室2室の続き間座敷 ■ 座敷と洋室の続き間 ■ 一つ間座敷 ■ 座敷なし(和室あり) ■ 和室なし

供給と選好の変容

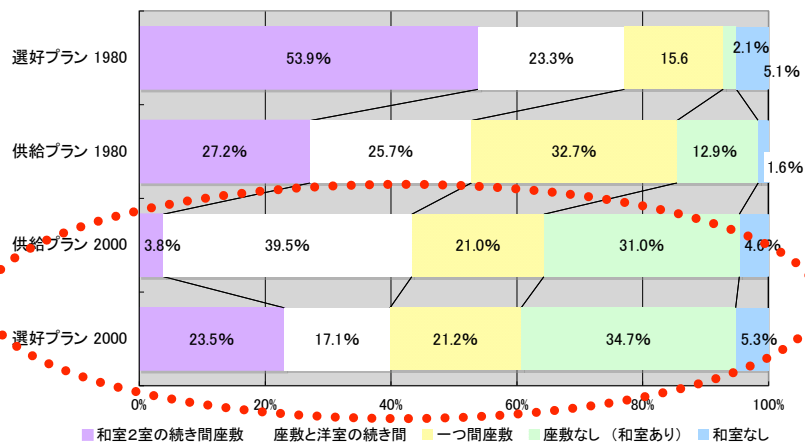


2000年代になると「住宅供給」は、大きく変化し「座敷と洋室の続き間」が高い比率で「続き間座敷」が、ほとんどなくなっています。

■ 和室2室の続き間座敷 ■ 座敷と洋室の続き間 ■ 一つ間座敷 ■ 座敷なし(和室あり) ■ 和室なし

供給と選好の変容

2000年代でも「供給と選好」に大きな食い違い!



■ 和室2室の続き間座敷 ■ 座敷と洋室の続き間 ■ 一つ間座敷 ■ 座敷なし(和室あり) ■ 和室なし

供給と選好の変容

居住プラン	選好プラン							総計	和室の要否		
	和室なし		和室へのアプローチ形式			その他	必要		1室	2室	
	畳なし	畳コーナー	居間から	居間と廊下	廊下から						和室2室
畳なし	10 22.2	19	7	6	3	-	45 9.5	29 64.4	13 28.9	3 6.7	
畳コーナー	-	6 50.0	1	4	-	1	12 2.5	6 50.0	5 41.7	1 8.3	
居間から	-	14	21 18.1	43	12	26 20.3	116 24.5	14 12.1	76 65.5	26 22.4	
居間と廊下	3	16	11 3.5	52	21	45	148 31.2	19 12.8	84 66.8	45 30.4	
廊下から	7	12	4	16	58	25	123 26.0	19 15.4	78 63.4	25 20.3	
和室2室	2	2	-	6	5	14	29 6.1	4 14.8	11 17.9	14 15.3	
総計	22 4.7	69 14.6	37 7.8	128 27.1	102 21.6	114 24.1	473 100.0	91 19.2	267 56.4	114 24.1	

*:太枠内の数値は居住プランと選好プランの一致数(上)と一致率(下)を示す。また、不明 37件除く

和室の要否：供給と選好の関係

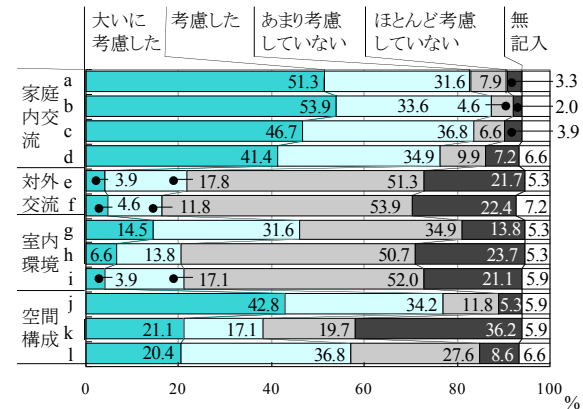
	廊下階段	選好プラン				総計	一致層割合	
		居間経由階段					小分類	大分類
		居間階段	居間通過階段	廊下・居間経由階段	その他			
廊下階段	134	20	12	19	185		134	
					61.7		72.4%	
居間経由階段	居間階段	1	65	18	6	90	65	
						30.0	72.2%	
	居間通過階段	1	1	11	3	16	11	
						5.3	68.8%	
	廊下・居間経由階段				4	4	4	
					1.3	100.0%		
その他		1	1		3	5	3	
					1.7	60.0%		
総計	136	87	42	32	3	300	217	
		22.9	14.0	10.7	1.0	100.0	72.3%	
増減	-49	-3	+26	+28	-2			

階段位置について：供給と選好の関係

	強く思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無 記入
家庭内交流 a	52.8		41.5	2.1	1.4
家庭内交流 b	40.1		42.3	13.4	1.8
家庭内交流 c	35.2		47.9	12.0	1.5
家庭内交流 d	40.1		41.5	10.6	1.6
対外交流 e	19.7		53.5	19.0	4.9
対外交流 f	16.2		51.4	21.8	4.9
室内環境 g	12.0		33.1	39.4	13.4
室内環境 h	14.8		40.8	35.9	6.3
室内環境 i	7.7		43.7	38.7	7.7

「居間中心型」住宅
居住者の
入居後の評価

<凡例>	対外交流
家庭内交流	e 来客をリビングへ招く事は抵抗ない
a 家の中で家族相互の気配を感じられる	f 子が友人を自宅へ招く事は抵抗ない
b 家族相互で顔をあわせる機会が増える	室内環境
c 会話などのふれあいの機会が増える	g 冷暖房効率の問題はない
d 子供の顔色や服装などがわかりやすい	h 足音・オーディオの音は気にならない
	i 調理の際の匂いは気にならない



「居間中心型」住宅
居住者が取得時に
考慮した事柄

<凡例>

家庭内交流	室内環境
a 家の中で家族相互の気配を感じられる	g 冷暖房効率に対する設備的配慮
b 家族相互で顔をあわせる機会が増える	h 音がよく響くことへの設備的配慮
c 会話などのふれあいの機会が増える	i 調理の際の匂いに対する設備的配慮
d 子供の顔色や服装などがわかりやすい	空間構成
対外交流	j 住まいの中心に居間が欲しい
e 来客をリビングへ招くことの抵抗感	k 吹き抜けで1、2階を連続させたい
f 子が友人を自宅へ招く事の抵抗感	l 廊下などの空間を有効利用

■居住者の「居間経由階段」への評価(自由回答より)

・「家庭内交流」への評価は高いが、コミュニケーションそのものより、見守り・管理の側面も背景にある

『子供たちが帰ってきた時チェックできる』
：「居間階段」→「居間階段」

『子供が高校生くらいになると自分から話をしなくなるので、顔色が見えるようにと心配して』
：「居間階段」→「居間階段」

『子供の監視、不審者の監視には適当と考える』
：「廊下階段」→「廊下階段」

■居住者の「居間経由階段」への評価(自由回答より)

・来客に対するプライバシーへの懸念のため、「廊下階段」を選択

『昔はリビング階段の家だったが、自分が子供のときリビング階段は親との関係がいやだった』

:「廊下階段」→「廊下階段」

『子供の友達がリビングを通ることに抵抗があり、リビング階段にしませんでした』

:「廊下階段」→「廊下階段」

『子供が友達を連れてくるのが抵抗があり、連れてこないと言われた』

:「居間階段」→「2方向アクセス」

「室内環境」のうち、空調効率については、「居間経由階段」居住者であっても対照的な意見が示されている

→外壁性能や空調設備の仕様の不十分さが、両極の評価をもたらした

□プラス評価

『密閉性が高く20帖用の大きいエアコンなので、吹抜けからエアコンが家中にまわって良い。床暖もあるが使ったことはない』 :「居間階段」→「居間階段」

『冬温かく夏涼しい。熱効率は気になっていません』 :「居間階段」→「居間階段」

□マイナス評価

『夏・冬のリビングの冷暖房が効きにくく、電気代、燃料代が気になります。一応のれんを上げてすこしは緩和されたような気がしますが、階段の仕切りは必要かなあと思っています』 :「居間階段」→「居間階段」

『2階が吹抜になっていたり、2階の階段ホールが広いので、冷暖房効率は悪いです。その為、現在は1階の階段の登り口にカーテンを付けています。建築時になかなか分かりにくいですが、もう少し考慮すればよかったと思っています』 :「居間階段」→「2方向アクセス」

室内音響や臭気についての問題点を指摘した記述も多い

『世帯主が夜リビングで喫煙すると、においが2階の寝室にもくる。フルフラットで、寝室ドアの下に隙間があるので、隙間をなくすか、リビング階段にしない方がいいなあと思う』

:「居間階段」→「居間通過階段」

『子供が1階では分からないが、2階へ行くと晩御飯のメニューが分かると言う』

:「居間階段」→「居間通過階段」

『音が気になる。冷暖房効率も悪い。今は良いが、将来子供が受験生になった時に問題があるかも知れない』

:「居間階段」→「2方向アクセス」

これら諸項目に関して、全般に否定的な意見が下記の居住者である

『リビング階段は最悪！！夏はともかく冬はとにかく寒い！冷たい空気が2階から流れ込んできて、リビングをいくら暖めても意味がない。そして、階段を上った所にトイレもあるが、その匂いも階段を伝って下りて来るし、階段を昇っていく為の動線が必要な為、リビングの使い方でものを置く都合がすごく悪くて困る。リビングに客がいると、2階から起きて出かける準備をするにも、はずかしくて降りていく事が出来ない事もあって不便。子供が小さいうちは良いが、大きくなるにつれて、子供にも色々言われる想像がつく』

:「居間階段」→「2方向アクセス」



上記のような問題点を認識しても……………

「居間経由階段」居住者は「居間通過階段」や「2方向アクセス」を求め、

「廊下階段」への選好は認められない。

●居間中心型の急伸

=わが国の住宅平面構成の転換点か？

・・・家族本位の実体化として評価できるか？

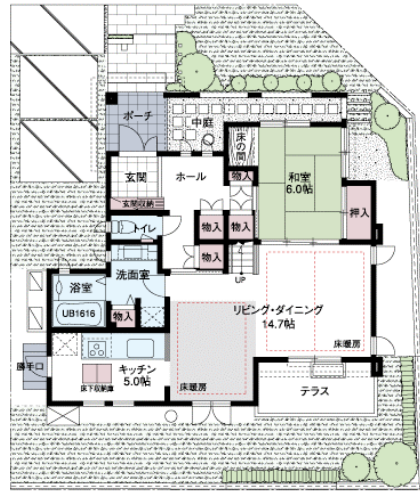
=室内環境（温熱・音・臭気）への計画課題の明確化が必要

●和室（座敷）の動向

=生活の自由度

=対社会性

=居間の多機能・複合化？



1F

○ 床暖房 ▨ 下がり天井または勾配天井もしくは高天井



FIN